

施策の進捗管理シート

令和 7 年度

総合 体系 計画	分野	7	第 7 章	効果的・効率的で信頼される行政経営が行われているまち	施策統括課	議会総務課
	施策No.	4	施策名	適正かつ効率的な議会活動への支援	課長名 (施策統括責任者)	出見 秀人
	関係課	議会総務課				

1. 施策の目標

めざす姿 (成果目標)	議会及び議員がその役割を果たすために必要な環境が整っている。
取組方針	議会が、議決機関として、適性かつ効率的な機能を十分発揮できるよう、議会運営へのICT活用等、必要な環境整備に取り組みます。また、市民に身近で開かれた議会となるよう、ホームページや議会広報誌等による議会情報の発信、議会報告会等による市民意見の収集等を支援します。

2. 施策の意図と成果指標

対象 (誰、何を対象としているのか) *人や自然資源等	佐賀市民、佐賀市議会議員					
意図 (この施策によって対象をどう変えるのか)	<ul style="list-style-type: none"> ・本会議や委員会等が公平・公正で効率的な機能を十分発揮できる。 ・議員が、真に市民の代表者として民意を的確に反映した活動ができる。 ・身近でわかりやすい議会と評価される。 					
成果指標 A						
議会情報が分かりやすく伝えられていると感じている市民の割合						単位 %
H30 基準	R1 計画 実績	R2 計画 実績	R3 計画 実績	R4 計画 実績	R5 計画 実績	R6 目標 実績
39.4	42.5 37.8	43.0 37.5	43.5 42.7	44.0 36.3	44.5 41.4	45.0 43.0
成果指標 B						
各種の支援によって、円滑な議会活動が行われていると感じている議員の割合						単位 %
H30 基準	R1 計画 実績	R2 計画 実績	R3 計画 実績	R4 計画 実績	R5 計画 実績	R6 目標 実績
91.7	91.7 93.2	91.7 92.9	91.7 89.8	91.7 88.1	91.7 86.7	91.7 89.7
成果指標 C						
議会または議員へ意見・要望が言える場や機会が、確保されていると感じている市民の割合						単位 %
H30 基準	R1 計画 実績	R2 計画 実績	R3 計画 実績	R4 計画 実績	R5 計画 実績	R6 目標 実績
23.5	25.0 23.4	26.0 22.2	27.0 25.7	28.0 21.2	29.0 27.0	30.0 27.5

3. 市民意向調査結果

施策の重要度	前回	今回	
重要である	31.4%	27.7%	↓
ある程度重要である	48.6%	49.7%	↑
あまり重要ではない	10.6%	15.4%	↑
重要ではない	2.0%	2.2%	↑
順位	34/36位	33/36位	↑

施策の満足度	前回	今回	
満足している	3.2%	2.5%	↓
どちらかといえば満足	44.8%	53.0%	↑
どちらかといえば不満	27.1%	24.0%	↓
不満である	6.2%	4.6%	↓
順位	17/36位	21/36位	↓

4. これまでの取組・成果

- ・本会議や委員会等が公平・公正かつ効率的に機能を発揮できるよう、議会運営へのICT活用の推進を引き続き行った。また、本会議での一般質問時に机上台を導入するなど、環境整備にも取り組んだ。
- ・議会情報の発信について、議会広報誌、議会ホームページ、ケーブルテレビ等の各種媒体で行った。本会議の動画については、スマートフォン、タブレット端末でも視聴可能にした。
- ・議会傍聴について、聴覚障がい者の傍聴を支援する文字情報用モニターを設置し、モニター前に10人分の利用者優先席を設けた。また、市議会ホームページで、傍聴席までの道案内動画を掲載した。

5. 指標の達成状況に関する分析

「議会情報がわかりやすく、伝えられていると感じている市民の割合」について、市議会だよりのレイアウトなど、広報広聴委員会を中心に改善してきたことが、実績値の上昇につながった。

「各種の支援によって、円滑な議会活動が行われていると感じている議員の割合」については、コロナ禍により他市への視察調査等、活動が大きく制限された時期もあった。しかしながら、近年では移動制限も緩和され、本実績は緩やかに増加しており、今後も引き続き、議会運営へのICT活用の推進や環境整備に取り組む。

「議会または議員へ意見・要望が言える場や機会が、確保されていると感じている市民の割合」については、新型コロナウイルス感染症の拡大により議会報告会を開催できなかった年度もあるが、議会広報広聴委員会を中心に開催概要などを検討し改善してきたことが、実績値の上昇につながった。

6. 今後の方向性（第3次佐賀市総合計画への反映など）

今後も引き続き、議会が、議決機関として適正かつ効率的にその機能を十分発揮できるよう、ICT等を活用した議会運営を推進するとともに、必要な環境整備に取り組んでいく。また、身近で開かれた議会となるよう、各コンテンツ（さが市議会だより、動画配信、ホームページ等）による議会情報の発信や、議会報告会や意見交換会による市民意見の収集等を支援していく。